

平成24年度
国有林野事業見学会について

計画部 指導普及課

本年度の事業見学会は、「歴史ある那須街道のアカマツ林と純白のゴヨウツツジの群落を見に行こう」と題して、6月1日（金）に24名の参加者により実施しました。

栃木県那須塩原市の那須街道アカマツ林は、宮内省所管の御料林でしたが、昭和22年に林野庁所管の国有林となったものです。

終戦後の食糧増産が必要な時代には、全て開墾される計画もありましたが、那須街道より50坪は、街道通行者にアカマツ林の美しい風景を供するために開墾されずに残され、現在、アカマツ遺伝資源保存林に設定されています。

この貴重なアカマツ林を後世に残そうと、国有林と地元のボランティア団体が協力して、保全活動を行っています。

見学会では、はじめにアカマツ林の保全活動、長年にわたり行われているオオタカの保護活動等について職員及びオオタカ保護基金の遠藤氏から概要の説明がされました。



那須街道のアカマツ林

その後、林内の歩道を野鳥の観察やさえざりを聴きながら散策を行い、松が枯れて空いた箇所、後継樹の植樹体験を行いました。

参加者からは、「木の管理は地道で人手のかかる事業であると再確認しました。」「一度伐つたり枯れた木は、何十年も過ぎなければ戻りません。コスト面で難しいことも多いと思います。」「日本の森林を守ってください。」「との声がありました。」「昼食後、国有林を利用した「森林レクリエーション」事業として、マウンテンジーンズの那須スキー場で期

間限定で運行されているゴンドラを利用して、敬宮愛子内親王様のお印の花としても名高いゴヨウツツジの群落を見学しました。



参加者による植樹の様子

当日は、雨上がりで周りの山並みは雲の切れ間に垣間見える程度でしたが、日当たりの良い斜面のゴヨウツツジの花が見事に咲き誇り、参加者からは、「見事なゴヨウツツジの群落に出会えて感動しました。」「との声がありました。」

参加者には、里山での貴重な生態系を見学し、市街地に隣接する森林について考える一日になったと思います。

植樹された後継樹の成長を楽しみに、アカマツ林に足を運んでいただければと願っております。



ゴヨウツツジの群落

幹部の紹介

8月1日付け（ ）は前職

森林管理署署長

▽茨城森林管理署

署長 赤木 利行

(近畿中国森林管理局

森林整備部長